

🌸 視察研修

防災意識を高めるため、令和4年7月に [東日本大震災・原子力災害伝承館](#) と [震災遺構・浪江町立請戸小学校](#)へ視察に行ってきました。当時の様子は、ニュースで何度も見ましたが、現地を目の当たりにすると色々と思いをさせられました。



浪江町立請戸小学校



浪江町立請戸小学校は海側の立地にも関わらず、職員・児童が『大平山』に避難し、全員助かりました。「もしも…」の判断で行動した功績は、教訓として受け継がれる物語です。写真は、避難した大平山の方角を話し合う様子です。視察をとおして、熊倉町は土砂災害警戒区域のため、早めの避難が重要となることから、参加体験型研修会を企画しました。

🌸 自主防災備品リスト

8月3日の豪雨災害をきっかけに、地区の防災備品情報を共有する目的でリストアップ行いました。代表区長にご協力いただき「防災備品リスト」を完成させることが出来ました。今後も各地区の防災意識を高め、災害に備えていきましょう。
※完成した防災備品リストは、公民館に設置してあります。

🌸 もしもすぐろく ワークショップ

防災をテーマに「自分にできること」「隣近所と気にかかけあ関係づくり」について考え、地域における支え合いの促進を図る目的で令和5年2月に参加体験型研修会を開催しました。イラストレーターico.(いこ)さんを講師にお招きし、熊倉町内での地震を想定し、民生児童委員と行政区長と話し合いました。地理や避難、備品についての気付きが生まれ、備品については「参考にして行政区で揃えたい」との声も聞かれました。



研修会の様子

ico.(いこ)さんの【防災ポートフォリオ】に研修の様子が掲載されました。話し合った内容は、裏面とおりです。



【防災ポートフォリオ -BOSAI PORTFOLIO-】

<https://bousai.themedia.jp/posts/4185346>



参考；『もしもすぐろく』

【ico.(いこ)さんの 被災シミュレーションもしもすごろく 内容】

※もしもの時に備えて、家族や友人と話し合ってみましょう！

① 命を守る行動とは？

② 余震が落ち着いてからしたいことは？

③ みんなに教えたい(避難中の)道中リスクは？

④ 安全な場所に着くまでにあると便利だと思うグッズは？



『地震時間割』とは、防災士教本にも掲載されている、地震発生時の行動目標のようなもの。実はふりかえった内容が『地震時間割』とリンクしており、そのまま『もしもすごろく』に反映できます。

- | | |
|---------------------------|--|
| -> ①「命を守る時間帯」(地震発生0-2分) | 落下物から頭を守る／固定されていない家具から離れる |
| -> ②「二次災害を防ぐ時間帯」(発生2-10分) | 火の始末／初期消火／避難経路の確保／情報収集／安否確認／被害拡大のおそれがあれば避難準備 |
| -> ③「まちを守る時間帯」(発生10-半日) | 火災が起きていないか声かけ／災害時要配慮者の安否確認／避難誘導／生き埋めや怪我人の救出救護 |
| -> ④「持ち歩く減災グッズ」(避難中) | 避難場所に到達するまで・支援物資が届くまでに活用する減災グッズ(モバイルバッテリー／食品飲料／ヘッドライト) |

● 研修では、上記の①～④の内容を順番に入れ「もしもすごろく」を完成させました！

皆さんも【防災ポートフォリオ -BOSAI PORTFOLIO-】からダウンロードしてオリジナルの「もしもすごろく」を完成させてみましょう。

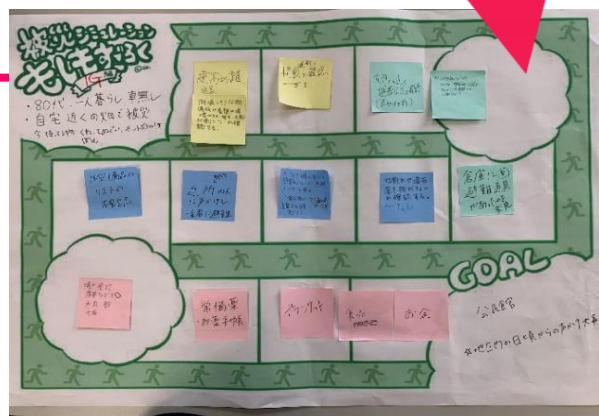
シミュレーション内容

<状況指定>

- 1 春の平日午後に大地震発生！
- 2 人物1～5まで全員熊倉町に自宅がある

<仮想内容>

- ・80代、一人暮らし、車無し。自宅近くの畑で作業中に被災。
- ・所持品：くわ、てぬぐい、ペットボトル1本、ぼうし
- ・想定リスク⇒家の屋根が倒壊、中に入れない…！
- ・避難場所⇒公民館



今年度も熊倉地区生活支援支え合い会議(愛称；キラキラ里の会)をよろしくお願いいたします。